



## 「感謝の心で」

# 心あったかニュース

NMCAA  
NO3

国際子供フォーラムが募った、高校生懸賞論文2015で最優秀賞に選ばれた高校一年のビラン、アンドレ君の論文を紹介します。

私には5人の母親がいます。という出だしで始まります。ビラン君の両親は薬物中毒で、お母さんはミルク代を薬に変えてしまい、ビラン君には砂糖水だけが与えられ、1200gの未熟児で、今にも死にそうな状態だったそうです。それを見た日本人の女性がビラン君を大切に育てたのですが、日本に帰る日がやってきます。その女性は、日本で落ち着いたら、自分の子供として引きとりにくるからと、フィリピンの女性3人に頼んで帰国します。

でも法律的な問題などがあつて、なかなかスムーズには日本にこれなかつたようですが、やっと10歳の時に、多くの人の支援で日本のお母さんと一緒に住むことができるようになりまし。

現在楽しく高校生活を送っているビラン君ですが、日本に来た当初はもちろん、日本語がわかりませんでした。お母さんは仕事のかたわら、日本語教室へビラン君を連れいくだけではなく、ビラン君の様子を温かく見てくれていたそうです。お母さんはビラン君に、自分のルーツをしっかりと理解して自分にプライドをもつて堂々と生きること、そして誰がみても恥ずかしくない生き方をし、常に自分を成長させ、輝かせることが大事だと話すそうです。

今まで産みのお母さんを恨んだこともあつたビラン君。現在の心境が論文にしっかりと書かれています。産んでくれなければ、自分は存在しない。多くの人が自分を本当の子供のように育ててくれたこそ、今の自分がいる。今はすべての母に感謝をして、一分一秒を大切に、産み育ててくれたすべての人に恩返しできると、自分に成長させていこうと思つている。不平の1000日より感謝の1日を、失望の1000日より希望の1日を」という

河野進さんの言葉のように、私は愛にあふれた日々を感謝の心で過ごしたいので

ビラン君の将来の夢は小学校の先生となつてこれからの時代を担う子供達を育てること

故郷のフィリピンで自分と同じ境遇にある子供達に、愛の手を差し伸べ、力になること。

### 編集後記

愛は次の愛を産むのですね。愛で接することが、愛を与えることができる人を見出すという内容がよくわかる内容だと思ひました。

5人のお母さんの国境を超えた愛の連携も素晴らしいです。